



今井の

先月のグッときた本の紹介

『落ちこぼれ役人
香港へ行く』



著者: 渡辺 大輔
出版: 梓書院

本書のタイトルでは「落ちこぼれ役人」とありますが、私はまったくそう思いません。「信念と情熱に満ち溢れた型破りな役人」だと思います。

地方創世のためにどうしたらいいか本気で考え行動にうつし取り組む。その本気の行動力と地道な努力によって、福岡県の海産物が世界有数のブランド力を持つようになります。唐泊（からどまり）の牡蠣もその一つです。

漁協をサポートする田舎の役人が、これまた田舎の唐泊の牡蠣をどのようにして香港へとマーケットを広げていくのか。“NO Attack, No Chance”（挑戦なくしてチャンスなし）。この言葉がぴったりな一冊です。

“地価の上昇ピークは2020年前後?”
九月十九日に国交省が発表した「平成二十九年都道府県地価調査」によれば、三大都市圏や圏域の中核都市である札幌、仙台、広島、福岡の四市では、地価が上昇傾向にあります。地価は十五年前後の周期でうごいていくという説に当てはめると、今の地価上昇は2020年前後がピークになるのでは、という見解がでています。

ひとつと不動産業界

“地価の上昇ピークは2020年前後?”

ウチ。こんなことやってます

笑顔向上委員会の委員長、石川です。

気づけばもう十二月。一月生まれに聞わず寒さに弱い私はすでに春が待ちどおしく感じます。

さて、弊社は5つの行動指針にもとづいて行動したスタッフを、他のスタッフがほめるといふ制度を設けております。

方法は、すばらしい行動をした人の氏名と内容をカードに書き、それを回収ボックスにいれます。月末にわたしたち委員会がカードを確認し、それを直接本人にわたします。



十一月は各々がもらったカードを皆で回覧しました。他のスタッフの良い行動を把握し自分の糧にしたいという気持ちが目的です。「不快さを与えず安心と喜びを与える」。そのために真面目に楽しく取り組んで参ります。

《笑顔向上委員会 委員長 石川明人》

渡邊万里子の感動体験

十一月のある日。私はまた一つ、年を重ねることができました。



これまで、わたしの誕生日は両親や友だちから「おめでとう」とお祝いをしてもらうことが当たり前と思っていました。

しかし今年こそはきちんと両親に感謝しようと思いつき、日付が変わると同時に「産んでくれてありがとうございます。」と両親に伝えました。

自分の誕生日は両親に感謝する日、と学んだことをきっかけに、昨年の誕生日にも伝えましたが、恥ずかしさがあり中途半端に伝えてしまいました。

その分、今年はきちっと伝えようという思いで1年間を過ごしてきたので、恥ずかしさよりも、なんだか楽しみになりました。

気になる両親の反応はいたって普通。「誕生日おめでとう」の言葉がかえってきただけでした(笑)

本当はそこで両親が感動してよるこんでくれるかな、と期待していました。

正直、すこし拍子抜けしましたが、きちんと感謝を伝えることができたことは良かったと思います。

感謝

会社の方々や友人、いつもまわりにおいてくださる方々からたくさんのおめでとうの言葉をいただき、あらためて、いまを元気に楽しく♪過ごせているのはまわりの方々のおかげだからだと感じました。

ですので、来年は両親にはもちろんですが、いつも近くにいるくださる方々におめでとうの言葉をいただく前に、自分から「ありがとう」と感謝の気持ちをたくさん込めて伝えようと思っています。

《渡邊 万里子》